

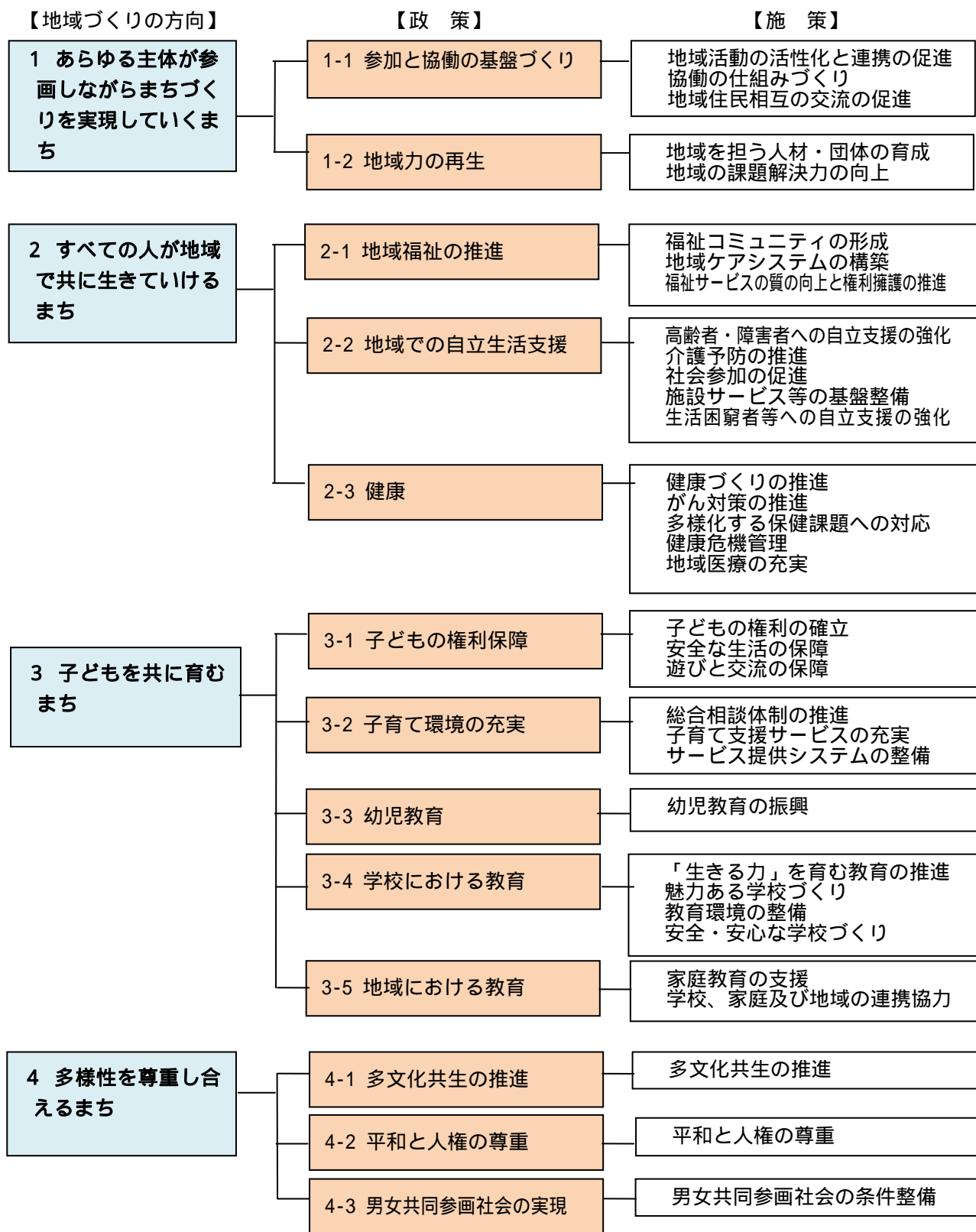
第2編

各論



第1章 計画の姿

1 施策の体系



【地域づくりの方向】

【政 策】

【施 策】

5 みどりのネットワークを形成する環境のまち

5-1 みどりの創造と保全

みどりの拠点拡大
みどりのネットワーク

5-2 環境の保全

都市公害の防止
低炭素地域社会の実現
環境まちづくり
地域美化の推進

5-3 リサイクル・清掃事業の推進

3 Rの推進
資源循環型清掃事業の推進

6 人間優先の基盤が整備された、安全・安心のまち

6-1 魅力あるまちづくりの推進

秩序ある市街地更新
個性ある快適なまちづくり
池袋副都心の再生
新庁舎整備と現庁舎地活用による新たなまちづくり
活力ある地域拠点の整備

6-2 魅力ある都心居住の場づくり

安心な住まいづくり
良質な住宅ストックの形成

6-3 交通体系の整備

道路・橋梁の整備と維持保全
自転車・自動車対策の推進
公共交通の整備

6-4 災害に強いまちづくりの推進

防災行動力の向上と連携
応急・復興活動を円滑に行う体制の整備
災害に強い都市空間の形成
総合治水対策の推進

6-5 安全・安心の確保

治安対策
交通安全対策

7 魅力と活力にあふれる、にぎわいのまち

7-1 都市の魅力による集客力の向上

にぎわい魅力商工都市の形成
観光まちづくりの推進
都市交流の推進

7-2 産業振興による都市活力創出

新たなビジネス展開の支援
地域産業の活性化
消費者権利の実現支援

8 伝統・文化と新たな息吹が融合する文化の風薫るまち

8-1 文化によるまちづくりの推進

文化によるまちの活性化
新たな文化芸術の創出と創造環境の整備
地域文化・伝統文化の継承と発展

8-2 文化芸術の振興

文化芸術鑑賞機会の充実
文化を支え、発展させる人材の育成

8-3 生涯学習・生涯スポーツの推進

生涯学習の環境整備
個の学びから社会的な学習活動への転換
スポーツ・レクリエーション活動の充実

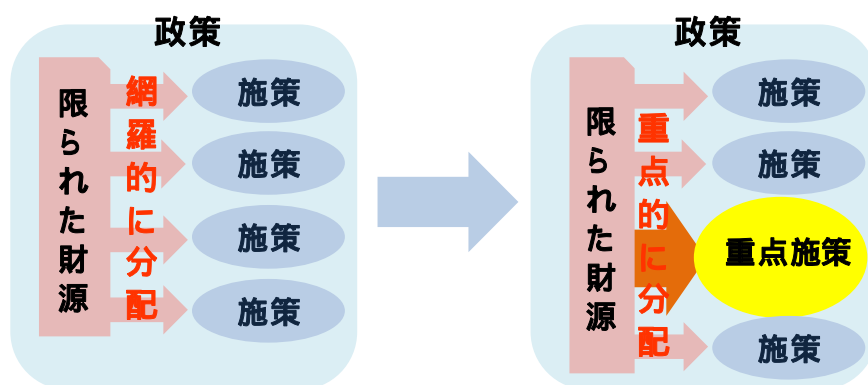
2 施策の重点化

(1) 「選択と集中」の仕組みとしての「重点施策」の選定

従来は、行政の計画は、区が取組むべき政策や施策を「網羅的」に横並びで示してきました。しかし、成熟社会で収入の増加が見込まれない中にあることは、限られた財源を効率的・効果的に活用する必要があります。

そこで、基本計画では、計画自身が主導して「選択と集中」を志向するために、一定の広がりを持った「施策」レベルでの重点化を図る仕組みとして「重点施策」を選定しています。

後期計画では、72の「施策」の中から22の「施策」を「重点施策」として選定しています。



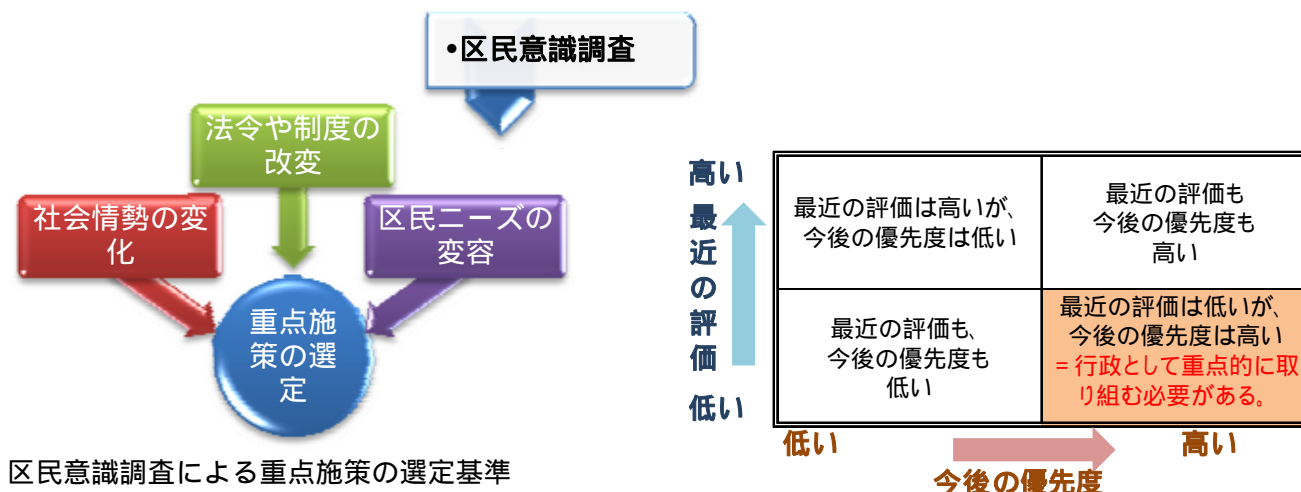
財源を平均的に配分するだけでは、政策が期待している効果を引き出す事業展開をすることができません。

政策ごとに重点的に取組む施策を定めることによる「選択と集中」によって、限られた財源を効果的効率的に活用することができます。

(2) 重点施策選定の考え方

選定にあたっては、区民意識調査等に基づき、現在の地域環境の満足度や今後の優先度等を踏まえ、改革の必要性なども含めて、総合的に判断します。

なお、重点施策の選定にあたっては、新たな区民ニーズや社会状況の変化に対応するため、原則として3年ごとに確認し、見直しを行います。



政策	施策	政策	施策	政策	施策
1-1	参加と協働の基盤づくり	3-4	学校における教育	6-3	交通体系の整備
	地域活動の活性化と連携の促進	重点	生きる力を育む教育の推進		道路・橋梁の整備と維持保全
	協働の仕組みづくり		魅力ある学校づくり	重点	自転車・自動車対策の推進
重点	地域住民相互の交流の促進		教育環境の整備		公共交通の整備
1-2	地域力の再生		安全・安心な学校づくり	6-4	災害に強いまちづくりの推進
重点	地域を担う人材・団体の育成	3-5	地域における教育		防災行動力の向上と連携
	地域の課題解決力の向上		家庭教育の支援		応急・復興活動を円滑に行う体制の整備
2-1	地域福祉の推進	重点	学校、家庭及び地域の連携協力	重点	災害に強い都市空間の形成
	福祉コミュニティの形成	4-1	多文化共生の推進（注）		総合治水対策の推進
重点	地域ケアシステムの構築		多文化共生の推進	6-5	安全・安心の確保
	福祉サービスの質の向上と権利擁護の推進	4-2	平和と人権の尊重（注）	重点	治安対策
2-2	地域での自立生活支援		平和と人権の尊重		交通安全対策
重点	高齢者・障害者への自立支援の強化	4-3	男女共同参画社会の実現（注）	7-1	都市の魅力による集客力の向上
	介護予防の推進		男女共同参画社会の条件整備	重点	にぎわい魅力商工都市の形成
	社会参加の促進	5-1	みどりの創造と保全		観光まちづくりの推進
	施設サービス等の基盤整備	重点	みどりの拠点拡大		都市交流の推進
	生活困窮者等への自立支援の強化		みどりのネットワーク	7-2	産業振興による都市活力創出
2-3	健康	5-2	環境の保全		新たなビジネス展開の支援
	健康づくりの推進		都市公害の防止	重点	地域産業の活性化
重点	がん対策の推進	重点	低炭素地域社会の実現		消費者権利の実現支援
	多様化する保健課題への対応		環境まちづくり	8-1	文化によるまちづくりの推進
	健康危機管理		地域美化の推進	重点	文化によるまちの活性化
	地域医療の充実	5-3	リサイクル・清掃事業の推進		新たな文化芸術の創出と創造環境の整備
3-1	子どもの権利保障	重点	3Rの推進		地域文化・伝統文化の継承と発展
	子どもの権利の確立		資源循環型清掃事業の推進	8-2	文化芸術の振興
重点	安全な生活の保障	6-1	魅力あるまちづくりの推進		文化芸術鑑賞機会の充実
	遊びと交流の保障		秩序ある市街地更新	重点	文化を支え、発展させる人材の育成
3-2	子育て環境の充実		個性ある快適なまちづくり	8-3	生涯学習・生涯スポーツの推進
	総合相談体制の推進	重点	池袋副都心の再生		生涯学習の環境整備
重点	子育て支援サービスの充実		新庁舎整備と現庁舎地活用による新たなまちづくり		個の学びから社会的な学習活動への転換
	サービス提供システムの整備		活力ある地域拠点の整備	重点	スポーツ・レクリエーション活動の充実
3-3	幼児教育（注）	6-2	魅力ある都心居住の場づくり		
	幼児教育の振興	重点	安心な住まいづくり		
			良質な住宅ストックの形成		

注：「幼児教育」、「多文化共生の推進」、「平和と人権の尊重」、「男女共同参画社会の実現」については、「政策」に対応する「施策」が一つであるため、重点施策を設定していません。

3 計画事業の選定

(1) 計画事業選定の必要性

基本計画は、豊島区の将来像を実現するために、8つの「地域まちづくりの方向」を基に、その下に26の「政策」を、さらに72の「施策」を位置付け、体系化しています。

計画を着実に実現していくために、すでに実施している事務事業、さらには、計画の目的をより効果的に実現するために、計画期間内に新たに実施する新規事業等を体系に対応させて分類します。

これを「計画事業」といい、計画期間中で実施する内容（事業量）と事業費を示し、進行を管理していきます。

しかし、区が実施する事業数は多く、全ての事業について事業量を示しながら管理することは困難です。そこで、特に進行状況を管理する事業を「計画事業」として選定する必要があります。

(2) 計画事業選定の考え方

計画事業の選定は、以下の考え方に基づいて行います。

(ア) 事務事業を、施設建設事業、法令扶助事業、一般事業に分けます。

(イ) 投資的な性格を持つ**施設建設事業**については、計画事業として位置づけます。また、法令扶助事業については、法令等により義務づけられるものであるため、選定対象から除外します。

(ウ) 一般事業の中で、当該施策を実施するにあたって根本的な内容であり、不可欠な事業を「**基幹事業**」、特に施策の効率性や効果の拡大に寄与する事業を「**貢献事業**」として一般事業数全体の1/3を目安に重要性の高い事業を選定します。

(エ) 政策・施策の目的を達成するため、計画期間中に新しい事業の展開が必要とされる事業を「**新規事業**」として、計画事業に位置付けます。

(オ) 計画事業として選定した事業の中から、特に事業の進捗状況を管理すべき事業については、実施計画に当たる「未来戦略推進プラン」による進行管理を行います。

「計画事業」選定のイメージ

